

令和6年度 宇都宮市食育推進会議 議事録

■ 日 時 令和6年8月30日（金）午後2時00分から午後3時00分

■ 場 所 宇都宮市役所 14大会議室

■ 出席者

1 委 員（18名）

内藤良弘委員，渡辺道仁委員，大森玲子委員，菊池克利委員，北條雅人委員，久米博子委員，石戸奈緒美委員，甲賀成美委員，鈴木桂子委員，福田治久委員，増渕祥子委員，澤村佳子委員，高橋友久委員，中野智之委員，小関裕之委員，笹沼佳子委員，坂本理江子委員，杉本由紀子委員（委員名簿順）

※ 欠席委員（2名）：遠藤秀樹委員，矢田部匡広委員

2 事務局（13名）

【保健福祉部】 部長，次長（保健衛生担当）

【健康増進課】 課長，保健センター所長，課長補佐，企画グループ係長，健康づくりグループ係長，職員 10名

【学校健康課】 学校食育グループ係長

■ 公開・非公開の別 公開

■ 傍聴者・記者 0名

■ 会議経過

1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており，本会議は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき，会議公開について説明，委員了承
- ・ 所定の手続による事前の周知の結果，傍聴希望者及び記者は0名

2 委員紹介【省略】

3 会長・副会長選出

- ・ 委員改選に伴い，新たに会長及び副会長を選出
- ・ 宇都宮市食育推進会議規則に基づく委員の互選により，会長に大森玲子委員，副会長に内藤良弘委員を選出
- ・ 会長及び副会長よりあいさつ

4 あいさつ【省略】

5 議事

(1) 第4次宇都宮市食育推進計画における重点事業の取組状況等について

6 委員からの主な意見・質問等（要旨）

(1) 協議事項

「第4次宇都宮市食育推進計画」における重点事業の取組状況等について

● 委員

N o. 10の目標値と実績値がともに1回となっているが、参加者は何名であったか。より多くの人に伝わる方法を検討してほしい。また、20歳代における朝食やバランス食での課題の要因分析は行っているか。

○ 事務局

1点目については、親子向け料理教室の中で実施している事業であり、令和5年度の参加者は12名であった。取組の必要性や知識などをより多くの方に伝えるため、引き続き、本事業だけでなく、保健センターでの講座など様々なツールを使いながら市民に対する周知啓発に努めていく。

2点目については、20歳代での要因に関する設問を設定していないため、直接的なデータはないが、働く世代の食生活では、仕事や育児で忙しいなどの理由があると認識している。

● 委員

介護施設での食事について、施設と連携するなどの高齢者への対策は何かあるか。

○ 事務局

介護施設での食事については、法律に基づく規模の給食施設では栄養士が配置されている。法律に満たない規模の給食施設であっても、宇都宮市では届出を基に、栄養士が巡回指導を実施しているため、引き続き取組を継続していきたい。

● 委員

宇都宮大学では、市との連携事業や、食育に関する出前講座などを行っていく中で、学生のニーズなども把握することができる。その他に若い世代の食育へのアプローチ方法はあるか。

○ 事務局

職場や大学などへの出前講座等を実施している。

また、食育への関心について、大学生と新社会人の特性の違いなどもあると考えていることから、それらも踏まえながら、より効果的に取り組んでいきたい。

● 委員

N o. 1 1とN o. 1 2については、目標値を上回るように取り組んでいただきたい。また、学校の給食だよりがメール配信で届くが、野菜の産地などを明記することで、郷土愛の増加に繋がることから検討してもらいたい。

○ 事務局

1点目については、子ども部門の部署に伝達する。

2点目の学校給食における野菜の産地については、家庭配付用の献立表にて、地元産の野菜であることが分かるように太字やマークで目立つようにお知らせしたり、校内掲示物で地元産食材の情報発信しており、引き続き、分かりやすく発信できるように努めていきたい。

● 委員

小学校では、食育についてはバランス良く食べるだけでなく、食べ方や、感謝の気持ちを育むといった観点からも推進に取り組んでいる。

● 委員

市内小中学校では、宇都宮市産トマトを使用した「トマト給食」を令和5年度から開始し、子どもたちも柔軟に受け入れていることから、これからも給食を利用し食育の推進を進めていきたい。

● 委員

市の歯科健診については、30歳から70歳までの5歳刻みの年齢に実施していた健診を令和5年度途中から20歳・25歳に拡大されており評価できる。「噛む」ことは食において重要であることから、若い人に食べることの重要性を広めていきたい。

● 委員

目標値が100%以上となっている重点事業についても、さらなる活動を続けてほしい。

● 委員

若い世代の食生活に課題がある中、イベントへの参加についてはファミリー単位が多いことから、食育フェアの会場変更は非常に期待している。このような若い人向けの取組を継続してほしい。